

日本のモノづくり支える素形材産業

INTERMOLD 2025

16日－18日

東京ビッグサイト

金型展2025

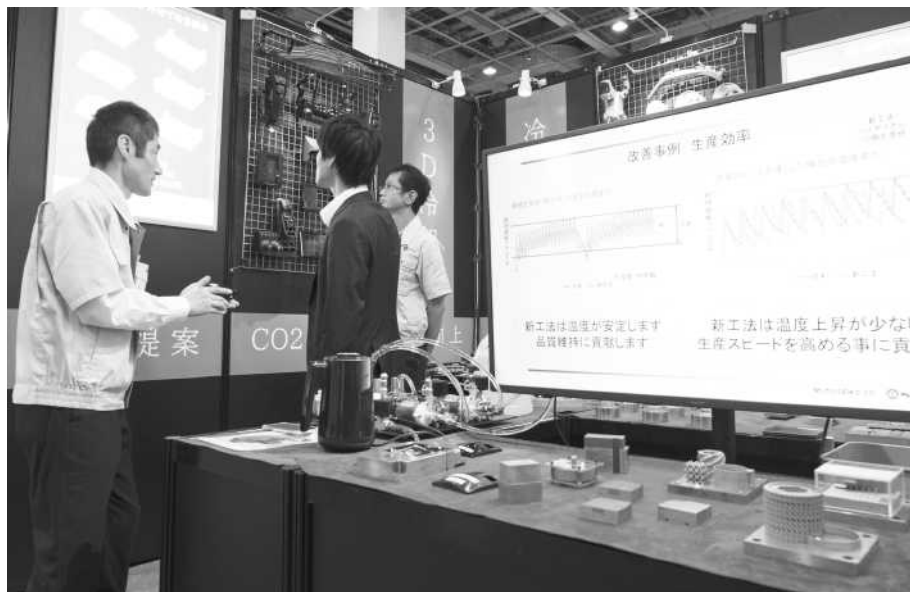
金属プレス加工技術展 2025

AM EXPO東京

ADDITIVE MANUFACTURING EXPO TOKYO

技術連携で変革をリード

素形材の最新技術集結



先進的な金型技術に興味津々
(2024年＝大阪会場)

国内外の工作機械メーカーや工具メーカー、金型メーカー、プレス加工メーカーなどが525社・団体、745小間の規模で出展する。「技術連携で変革をリードする」をテーマに、金型設計・製造や金属プレス、プラ

金型や金属プレス加工に関する四つの展示会「INTERMOLD 2025」（第36回金型加工技術展）「金型展2025」「金属プレス加工技術展2025」「AM EXPO東京」が、16日から18日までの3日間、東京・有明の東京ビッグサイト東展示棟4・5ホールで開催される。INTERMOLDと金型展は日本金型工業会、金

属プレス加工技術展は日本金属プレス工業協会、AM EXPO東京は日本AM協会が主催し、インターモールド振興会が運営する。来場は完全事前登録制（無料）。ウェブサイトで事前来場登録を行い、印刷した来場者証を持参する。来場者証を持参しない場合は入場料3,000円が必要。開場時間は10時から17時まで。

AI・ロボ活用－中小に提案 生産性向上



金型産業や金属プレス加工技術への期待はますます高まっている（2024年＝大阪会場）

会場内では「ロボット・AI活用フェア」では自動化をテーマに、協働ロボット、産業用ロボット、自動搬送ロボット、システムインテグレーション、画像解析ソフト、AI（人工知能）システムなど、生産性の向上や品質管理などに貢献するロボットやAI関連の製品を紹介する。ロボットやAI技術

製造技術「フェア」を設ける。「ロボット・AI活用フェア」では自動化をテーマに、協働ロボット、産業用ロボット、自動搬送ロボット、システムインテグレーション、画像解析ソフト、AI（人工知能）システムなど、生産性の向上や品質管理などに貢献するロボットやAI関連の製品を紹介する。ロボットやAI技術

「プラスチック部品製造技術フェア」では、射出成形機、押出成形機、原料混合・供給装置、ホットランチャ装置、樹脂原材料、表面加工・コーティングなど、プラスチック加工に関わるさまざまな製品やサービスを紹介する。プラスチックは自動車などの大型製品パーツをはじめ、素材の特徴を生かした医療機器や半導体部品の需要も高まっており、その成形技術に関心が集まっている。また生分解性プラスチックやバイオプラスチックといった環境負荷軽減に寄与する次世代素材の活用も進められている。そこで、インターモールドの強みである「金型加工」と「部品製造+プラスチック成形」を中心に、部品加工メーカーや自動車・医療・半導体など樹脂製品に関わる企業に向けて提案する。

「プラスチック部品製造技術フェア」では、射出成形機、押出成形機、原料混合・供給装置、ホットランチャ装置、樹脂原材料、表面加工・コーティングなど、プラスチック加工に関わるさまざまな製品やサービスを紹介する。プラスチックは自動車などの大型製品パーツをはじめ、素材の特徴を生かした医療機器や半導体部品の需要も高まっており、その成形技術に関心が集まっている。また生分解性プラスチックやバイオプラスチックといった環境負荷軽減に寄与する次世代素材の活用も進められている。そこで、インターモールドの強みである「金型加工」と「部品製造+プラスチック成形」を中心に、部品加工メーカーや自動車・医療・半導体など樹脂製品に関わる企業に向けて提案する。

「プラスチック部品製造技術フェア」では、射出成形機、押出成形機、原料混合・供給装置、ホットランチャ装置、樹脂原材料、表面加工・コーティングなど、プラスチック加工に関わるさまざまな製品やサービスを紹介する。プラスチックは自動車などの大型製品パーツをはじめ、素材の特徴を生かした医療機器や半導体部品の需要も高まっており、その成形技術に関心が集まっている。また生分解性プラスチックやバイオプラスチックといった環境負荷軽減に寄与する次世代素材の活用も進められている。そこで、インターモールドの強みである「金型加工」と「部品製造+プラスチック成形」を中心に、部品加工メーカーや自動車・医療・半導体など樹脂製品に関わる企業に向けて提案する。

多彩なセミナー・講演

会期中は連日、多彩なセミナーや講演、企画などが行われる。16日11時からレセプションホールで、基調講演「日本金型産業のさらなる競争力強化に向けて－プレス金型業界横断の共通基盤づくり」を開く。トヨタ自動車モノづくり開発センターの大澤晋一郎部長、日産自動車車両生産技術開発本部プレス技術部の岡本辰也部長、マルスンの鈴木将生社長らが登壇する。



講演やセミナーも多数開かれる（2024年＝大阪会場）

講演では、データや製作ルールづくりの共通化が混在。データも色・寸法公差といった加工属性や製作仕様が各社各様で設計されているのが現状だ。講演では、データや製作ルールづくりの共通化が混在。データも色・寸法公差といった加工属性や製作仕様が各社各様で設計されているのが現状だ。

17日15時からセミナー会場第1会場で、INTERMOLD×AM EXPO特別講演「変革を担う企業が消えていく時代：経営者の決断力が試される瞬間 Additive Manufacturingがあなたの会社を100年企業に脱皮させる」を開催する。

特別講演およびテクニカル・ワークショップ プログラム（一部抜粋・第3会場でも開催）

■場所：セミナー会場 ■受講：無料 ■定員：各約100人 ■一部を除き事前登録制

SP＝特別講演プログラム、TW＝テクニカル・ワークショップ プログラム

4月16日		4月17日		4月18日	
第1会場	10:30 ～ 12:00	自動車産業のCASE展望	SP	10:30 ～ 12:00	AMで新しいモノづくりのゴールドラッシュが来る！ 実用化している樹脂AM（3Dプリンティング） 協栄産業／ストラタシス・ジャパン／APPLE TREE
	13:00 ～ 14:00	Challenge to the future ～工作機械メーカーからの提案～① ファナック／安田工業	SP	13:00 ～ 14:00	世界のバイオプラスチック活用の現状と展望 ～米国、欧州の最新動向 小松技術士事務所 小松道男氏
	15:00 ～ 16:00	MBD推進センターが考える「これからの自動車開発と 中小企業様の競争力向上への期待」とは 本田技研工業 青木剛氏	SP	15:00 ～ 16:00	金属プレスシミュレーションによる 金型造形プロセスの改善と方案検討の効率化 サイバネットシステム
第2会場	10:30 ～ 12:00	AMで新しいモノづくりのゴールドラッシュが来る！早い者勝ち 日本Additive Manufacturing学会／造幣局／SUBARU	SP	11:00 ～ 12:00	加工品質向上と高能率化を両立する 最新工具と活用事例 日進工具
	13:00 ～ 14:00	バイオプラスチック製品の国内事例と成形技術 小松技術士事務所 小松勝男氏、三義漆器店 曾根佳弘氏 カミーノ 深澤幸一郎氏、豊栄工業 美和敬弘氏	SP	13:00 ～ 14:00	Challenge to the future ～工作機械メーカーからの提案～② 西部電機／牧野フライス製作所
	15:00 ～ 16:00	インド進出セミナー Die & Mould India 2026 展示会説明 インド金型工業会	SP	15:00 ～ 16:00	Cimatronの力で加速するプレス金型設計： 工期50%短縮を実現！ セイロジャパン

MOLDINO

The Edge To Innovation

高硬度鋼加工用超硬ボールエンドミル IXエポックディープボール-TH3

IX-EPDB-TH3

超硬を 超える

次世代超硬合金

IXシリーズ誕生

株式会社 MOLDINO

INTERMOLD 2025

東京ビッグサイト5-157

IX

Innovation X

生産性向上・人材育成・技術継承を実現する

3D CAD/CAMシステム TopSolid

製品・設備設計

3次元設計支援システム

TopSolid'Design

金型設計

プラスチック・プレス・ダイカスト
金型設計支援システム

TopSolid'Mold
TopSolid'Progress

部品加工

3次元ソリッド
CAD/CAM システム

TopSolid'Cam

■二次元コードから各製品の導入事例をご覧ください。



お問合せ sales@kodamacorp.co.jp
URL https://www.kodamacorp.co.jp



・TopSolidは、TOPSOLID社のフランスおよびその他の国における商標または登録商標です。
・TOPSOLIDは、コダマコーポレーション株式会社の日本における登録商標です。

注目製品

長時間の水切りワイヤー放電加工用
超硬合金 フジロイVG51

紹介動画

超硬耐摩耗工具のリーディングカンパニー

電池関連金型・工具

INTERMOLD 2025 | 東5ホール 5-124

FUJILLOY
富士ダイス株式会社

AM EXPO東京が新たに同時開催され、
昨年以上の盛り上がりが期待される。
(2024年)大阪会場開会式

金型展

モールドキャスト

モールドキャストは特許技術を用いて、効率的な熱交換製品を提供している。加熱加圧のみで金属同士を接合する拡散接合技術により、接着剤やろう材などを使用せずに母材と同等の接合強度を持つ接合金型の製作が可能。これにより、金型内の冷却自由度を向上させ、複雑形状に適した流路配置を実現する。こうした接合技術を生かした技術や製法開発に対し積極的に取り組んでいる。

会場では3次元流路内蔵金型や異種金属接合金型、流路内蔵型ダイカスト製ヒートシンクなどのサンプル品を多数展示する。

旭プレジジョン

旭プレジジョンはゴム・樹脂成形金型に採用されている、タンゲステン合金めっき「ニウフォスII」を展開する。製品脱型時の離型性向上や離型剤使用量の低減が可能なほか、ハロゲン系ガスへの耐食性被膜を有する。金型の耐食性を高めつつ生産現場のコスト減に貢献する。

同社は近年ヒートサイクル向上を目的に採用が進む「ベリリウム銅」への施工や、母材を粗化させない剥離技術を持つ。さらに高離型性の「レジフレム」やフッ素とセラミック系の「テクノNACコート」からなる表面処理なども提案する。

INTERMOLD 金型展
金属プレス加工技術展
AM EXPO 東京

有力企業の製品・技術 順不同

Y-MOLD

Y-MOLDは金型の製造や販売を行い、マイクロメートルレベルの各種微細加工、精密金型などさまざまな微細加工技術を誇る。会場では「マイクロノード」や「マイクロ流路」、微細溝加工を紹介する。

同社は、より微細でより美しい加工を追求し、工具・CAM・環境・設備を最適化し、長年培ってきた微細加工技術のノウハウと洗練された感性を融合させている。また、微細形状成形の課題に対応するため、H&C装置なども設備した「微細成形ラボ」を併設し、短期間での量産を支援している。

INTERMOLD

MOLDINO

MOLDINOはギガキャストや燃料電池セパレーター金型、多様な穴開け加工のソリューションを中心に、製造費削減・PRODUCTION（プロダクション）50を実現する最新商品群を加工ワークとともに展示する。

2月に発売した高硬度鋼加工用超硬ホルエンドミル「EXEEDPB-T H3」は、新開発の超々微粒超硬素材の採用により、耐摩耗性と耐欠損性を高次元で両立する。特に60HRCクラスの高硬度鋼加工で工具寿命が飛躍的に向上するため、高価なCBN工具からの置き換えにも期待できる。

富士ダイス

富士ダイスは24年6月に75周年を迎えた、超硬耐摩耗工具で国内トップシェアを誇る工具・金型の事業メーカー。材料開発から自社で行った、長時間の水切りワイヤー放電加工用の超硬合金「フジロイVG51」を出品する。

同製品は、耐摩耗性と靱性、耐食性に優れており、長時間の水切りワイヤー放電加工後も高品質な表面粗さを実現し、金型の加工コスト削減と長寿命化に貢献する。

また、電池の金属ケースや電池の原料となる粉末を製造する金型も展示する。各種電池金型の量産に対応できる。

中日本炉工業

中日本炉工業はオーダーメイドに特化した工業炉を製作している。高精度・高品質な熱処理の実現に貢献し、多様な産業分野で活用されている。

また、近年では金属以外の製品を処理する設備開発協力にも注力している。熱処理炉製造で培った温度コントロールやガスコントロールの技術を活用。顧客の要望に沿って、さまざまな設備を開発してきた。

同社は「お客さまの『やりたい』『不可能』を可能にする最先端の技術を支える技術集団」を掲げ、今後も挑戦を続けていく。

安田工業

安田工業は大型サイズのモールドベイスやダイセットプレートの高速・高精度加工を目的に「VBM 9150V」を開発した。

スピンドルハウジング、サドルなど、トップビーム上の移動体を軽量化するとともに、コラムとトップビームの一体化により剛性を向上させ、高速かつ高精度な動きを可能にしている。

会場では高精度はめ合いのサンプルや、X軸1000分の1ミリの追従性体験・キサゲ体験コーナーなど「来て、見て・触れて・感じる」ことができる展示を行う。

日進工具

日進工具は樹脂金型材料として使用される、SUS420J2 52HRC相当の直彫り加工に特化したエンドミル「MPXコーティング SUS420用ロングネックボールエンドミル XRBH230」を開発、24年秋に発売した。

SUS420J2は磨き性に優れており鏡面が必要な樹脂金型に用いられるが、被削性は悪く長寿命な工具が要望されていた。同工具はその要望に応え、SUS420J2用として特化した新開発のMPXコーティングと最適な刃先形状で、従来比2倍以上の長寿命化に成功した。

北川精機

北川精機の重畳棚「ソリッドストック」は、設置場所や収納物のサイズ、重量に合わせた高さや幅、段数、耐荷重など、自在なカスタマイズが可能。鋼材などの材料や加工済製品などを効率よく収納・管理することができる。

会場では、1段あたり最大8tまで収納可能な、業界トップクラスの積載荷重を持つ「超重量物収納ストック」を紹介する。

金型のような重畳物でも、工場の上部空間を活用した保管が可能となり、工場内スペースの有効活用にも貢献する。

大昭和精機

大昭和精機の「スマートダンパー・スクリューオンホルダーは「2面拘束BHTビッグプラスホルダー」と「HSKホルダー」を取りそろえ、ヘッド交換式カッターを確実にクランプする。

交換式カッターは低抵抗で切れ味に優れたフルカットミルFRC型とFCM型。ホルダーは剛性と干渉回避に優れたテーパー形状の防振機構内蔵スマートダンパーヘッドとの組み合わせにより、一般的な超硬シャンクタイプと比べ、びびりを抑えた良好な加工が可能。突き出しの長い加工でも、快適で安定した切削が行える。

接合だから成しえた **板** Technique

◆金型のリブ形状等、冷却流路の配置困難な箇所へ
高精度、微細流路の設置が可能（流路径：φ0.15mm〜）

◆拡散接合による
新技術・新製品や
マルチマテリアルの
開発もご支援致します。

金型リブ形状
冷却回路

MOLE'S ACT
—モールドキャスト—

ハイスイクル
スプルーブッシュ

株式会社 **MOLE'S ACT** 〒392-0131 長野県諏訪市大字湖南5902-1
TEL:0266-58-5058(代) FAX:0266-58-6825 Email:info@moles-act.co.jp
URL:www.moles-act.co.jp

ブース No. 4-541-62

Y-MOLD

超微細加工なら

社名変更のお知らせ 弊社は2025年4月3日(木)より社名を「Y-MOLD株式会社」(ワイモールド)に変更いたしました。これからも変わらぬご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

マイクロ流路金型
流路幅100μm×100μm 凸形状
面粗さ: Ra0.02μm 材質: ステンレス材

マイクロノードルバスター
ロケット形状 φ0.5mm×長さ1mm
材質: ステンレス材

へール加工

ミクロンの最高峰へ **±0.001mmのものづくり**

Y-MOLD 株式会社
(旧社名：有限会社米山金型製作所)

〒399-3304 長野県下伊那郡松川町大島402-12
TEL:0265-36-5476 FAX:0265-36-6309

ブース No. 東5ホール 5-135

https://y-mold.com

NS TOOL

MPX コーティング

**SUS420用
ロングネックボールエンドミル
XRBH230** New

70th Anniversary
おかげさまで70周年

耐摩耗性は新たな次元へ

SUS420J2 52HRC 相当 くわしくはこちら

従来比 **2倍以上**
驚異的な寿命を実現

INTERMOLD 2025

小間番号 5-143

「つくる」の先をつくる
日進工具株式会社